



発達障害のある生徒への理解と支援

名古屋大学 大学院 教育発達科学研究科・発達心理精神科学教育研究センター
文部科学省 発達障害に関する教職員育成プログラム開発事業

日 時 : 平成26年 11月30日(日) ①・② 13:00~17:15

平成26年 12月 6日(土) ③・④ 13:00~17:15

講演内容 : ① 発達障害の理解 ~どこまでが発達障害なのか?~

野呂 健二 (名古屋大学 発達心理精神科学教育研究センター 特任准教授)

発達障害という言葉が広く知られるようになるに伴い、発達障害と診断される児童生徒が増えています。本講演では、発達障害の特性と概念、臨床像、医学的診断に加え、他の精神的問題をもつ生徒との見分け方について医学的観点からお話します。

② 特別支援教育を推進するために

酒井 貴庸 (名古屋大学大学院 教育発達科学研究科 特任助教)

特別支援教育が開始され、基本的な支援体制は整いつつありますが、体制が整うことと、実際に機能し始めることでは別であると考えられます。本講演では、特別支援教育の支援体制を機能させていくために必要なサポート資源や教職員の意識・考え方についてお話します。

③ 積極的行動支援(PBS)による発達障害生徒の支援

大久保 賢一 (畿央大学 教育学部 現代教育学科 准教授)

児童生徒の行動面の問題は、特別支援教育に限定されない教育全体における大きな課題の1つです。しかし、実は「行動の問題」を解決する方法は、徐々に明らかになってきています。本講演では、罰に頼ることのない「ポジティブ」な行動支援について、実践的な観点からお話します。

④ 発達障害生徒の感情マネジメント

小倉 正義 (鳴門教育大学大学院 学校教育研究科 准教授)

発達障害生徒は、感覚や認知の特性から様々な場面でストレスを感じやすく、また、そのストレスを上手に対処することが難しいために、時には感情に振り回されてしまうことがあります。本講演では、発達障害生徒が自分の感情と上手につきあう、つまり「感情をマネジメントする」ための支援方法についてお話します。

場 所 : 名古屋大学 IB電子情報館 大講義室(東棟 2階)
(地図 : <http://www.nagoya-u.ac.jp/access-map/higashiyama/is.html>) ⇒



定 員 : 300名

対 象 者 : 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教職員、発達障害の支援に関わる専門家

参 加 費 : 無 料

申 込 方 法 : 申込用紙(本紙裏面)にご記入の上、FAX、またはメールで下記申込先へお申し込み下さい。
メールでお申込みの際にもアンケートを含め、必要事項をご記載下さい。

申 込 先 : 〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター 第1プロジェクト室
【FAX】 052-747-6522 【e-mail】 hattatsushien@educa.nagoya-u.ac.jp

申 込 期 限 : 平成26年 11月7日(金)

発達障害のある生徒への理解と支援

参加申込

送付日 平成 26 年 月 日

フリガナ	
氏名	男 ・ 女
勤務先学校名	
職名	
電話番号	
E-mail	
参加希望	(両 日) ・ (11月30日のみ) ・ (12月6日のみ)

研修内容の参考にさせていただきますので、アンケートにお答え下さい。
下記のなかでご存知の項目がございましたら、にをつけて下さい。

- 合理的配慮 発達障害者支援法
- 障害者の権利に関する条約(障害者権利条約)
- 積極的行動支援 SST(社会的技能訓練)

<お知らせ>

申込締切は、**平成26年11月7日(金)**です。

お申し込み後2週間以内に、参加の可否につきまして、ご連絡をさせていただきます。
返信がない場合には、お手数をおかけしますが、下記までご連絡ください。

<連絡先>

名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター 第1プロジェクト室
FAX 052-747-6522 e-mail : hattatsushien@educa.nagoya-u.ac.jp